

議案一1. 平成27年度 活動報告

<はじめに>

次のテーマで1年間活動した。

1. 子どもたちを支え見守る活動
2. 地域の安全を守る仕組づくりの活動
3. ネットワーク活動推進のための活動
4. 市原市が推進する“安心生活見守り支援事業”の活動

こうした私たちのネットワーク活動は、“地域課題の解決、安心安全の地域づくり”や“会員の出身団体の活動”に十分な寄与が出来ただろうか。また会員同士や地域の方々との交流・連携は十分だったろうか。そしてネットワークの強みを生かした活動は出来ただろうか。

ネットワーク会員の多くは、日常的に様々なボランティア活動を行っています。本当に多忙の中、議論を重ね助け合いながらテーマ解決のため努力しました。このペースを進め次に繋ぎたい。

1. 子ども支援部 活動報告

子ども支援部として、全体としては計画に対応できたと感じています。又、「安全生活見守り支援事業」については「子ども支援部」よりは多くの支援者を排出すると共に、「長寿会」のご協力を得るなど一応の成果はあったと思う。

(1) 運動会を初め、学校事業・PTA事業に積極的に関わっていく。

学校事業・PTA事業はほぼ協力出来た。ひとつ残念だったのは初回にPTA会長さんとの打ち合わせが出来なかったこと。

(2) 総合防災訓練への協力

今年度は、市原市避難所運営訓練会場に当たったため、市の訓練に従った。なを、南小は休校となり学校としての訓練は無かった。

(3) 歳末助け合い運動の実施(クリスマスコンサート)

今年度は12月6日と少々早い時期だったので、参加者が少々すくなかった。ただ事前打ち合わせ、演奏会等は大変よかった。

(4) 安心生活見守り支援事業への積極的協力

年度途中からの出発となったが、桜台・椎の木台共に初年度としては上々の滑り出しではないでしょうか。

現状では、次年度からは増えることも予想されるので、担当事業部を設け専任性も必要に成ってくるのではないのでしょうか。

2. 安全部 活動報告

- (1) 市原市「避難所運営訓練」(南小学校会場)への取組・参加
 - ① 各町会選抜住民と「避難所運営訓練」に参加し、避難所での一連の流れを体験
 - ② 防災無線放送、防災ラジオの聞けない住居があり日頃から情報入手手段を考えておく必要がある
- (2) 南小における防災・防犯関連行事への地域・学校連携対応
5/14；引渡し訓練 6/11；市内一斉小・中学校防災訓練、集団下校訓練
12月；マラソン校外練習および納会のみまもり
- (3) 各町会に適応した「安否確認シート」の作成推進
 - ① 今年度各町会の「安否確認」実施方法の確認
 - ② 市原市からの「避難行動要支援者」名簿の配布有無確認
※ 25年3月に「災害時要援護者」名簿を各町会長宛に配布済
 - ③ 市原市の「避難行動要支援者」避難行動支援に関する制度の紹介
 - ④ 「安否確認シート」の見直し整備と「避難行動要支援者」支援プラン・個別計画の作成モデル案の紹介
- (4) 南小学校「防災教室」の活用
引渡し訓練、避難所運営訓練、南小バザー、参加者への教室紹介
- (5) 有秋地区防災無線通信訓練
有秋支所／アネッサ／東小／西小／南小、相互間のトランシーバーによる通信確認

3. 総務部 活動報告

- (1) 会員相互の連携・協働を深める
 - ・研修会、懇親会の開催；
1月19日(火)「千葉消防共同指令センター」
「千葉市消防航空隊」を訪問、研修した。
その後、懇親会を開催した。
参加者； 研修会 23名、懇親会 24名
- (2) 地域情報を共有するために広報誌「みなみかぜ」の内容充実
第12号(2015 4月発行)、第13号(2015 7月発行)、
第14号(2015 10月発行)、第15号(2016 1月発行)
- (3) 先生、保護者及び学校支援ボランティアとの交流を図る。
 - ・学級支援、運動会、グラウンドの草刈作業等の共同作業のなかで交流した。

(4) 防災・防犯について学ぼう

- ・避難所運営訓練（地区社協主催、市原市避難所訓練）や防災研修（上記1）にて学んだ。

4. 「安心生活見守り支援事業」活動報告

(1) 活動経緯

- 4月～ ○平成27年度定期総会（4月）にて今年度中の事業展開を決議した。
○役員会、推進委員会にて加入条件や募集方法等の協議・検討
・見守り希望者の要件；①75歳以上 ②障がい者 ③その他必要な人
・募集の周知；広報誌「みなみかぜ」、「募集チラシ」の町会回覧、「口コミ」
- 7月～ ○見守り希望者&安心訪問員の募集結果（2016.03.22現在）
・希望者（対象者） 21人（椎の木台；15人、桜台；6人）
・安心訪問員 25人（椎の木台；10人、桜台；15人）
- 9月～ ○安心訪問員の「基礎研修」（5回実施）
○安心訪問員会議の開催；（3回実施、2ヵ月に1回）
○地域包括支援センター「たいよう」と打合せ 等
- 10月～ ○訪問活動 開始
○活動奨励金の申請（10月10日）➡認可（10月15日）
- H28.1月 ○平成28年度も現体制（NW会員+安心訪問員）で進める。

(2) 訪問活動について

○まだ互いに顔合わせの段階であるが、訪問を重ね話し合いを続ける中で「見守り希望者」と「安心訪問員」の適切な繋がり関係を作りたい。また「安心訪問員」間、「安心訪問員とNW会員」の情報交換／意見交換を密にし、より効果的な訪問の在り方等について模索したい。

○気づき

- ・たいていの方は独居高齢者で話し相手を欲している。
- ・通院もあるが地域の食事会や同好会に参加し概してお元気である。
- ・本活動に前向きで気持ちよく受け入れてもらえる。
- ・福祉医療情報キット（みまもりくん）は重宝がられている。